



®環境省

エコアクション21



認証・登録証

認証・登録番号

0000696

認証・登録事業者

福山産業株式会社

神奈川県川崎市高津区千年 610 番地 5

事業活動

建造物解体工事、産業廃棄物収集運搬、フロン類回収業

対象事業所

本社、旭事業所、勝田 DEPO

認証・登録日

2006年3月30日

更新・登録日

2022年3月30日

有効期限

2024年3月29日

上記事業者は「エコアクション21ガイドライン2017年版」(環境省)の
要求事項に適合していることを証します。

一般財団法人 持続性推進機構

理事長 森本英香



COPY COPY COPY

環境経営活動レポート

2020年6月1日～2021年5月31日(第19期)



福山産業 株式会社

2021年6月30日 作成日

目 次

①	環境経営方針	P.1
②	会社概要	P.2
③	環境経営管理実施体制	P.3
④	許可の内容	P.4
⑤	収集運搬車両	P.5
⑥	環境経営目標	P.6
⑦	環境経営活動計画	P.7
⑧	環境経営目標の実績	P.8
⑨	環境経営活動計画の取組結果とその評価 及び次年度の取組内容	P.9
⑩	環境関連法規への違反、訴訟等の有無	P.10
⑪	代表者による全体評価と見直しの結果	P.10

① 環境経営方針

基本理念

当社は、建造物解体工事業・産業廃棄物収集運搬業を業とし、環境との共生・調和・環境への取り組みを最重要課題として認識し、自ら責任を持ち、全社一丸となって環境との共生・調和に考慮した事業活動に取組み建造物解体工事業に伴う廃棄物を分別し再資源化(リサイクル)に取り組み循環型社会に貢献します。

産業廃棄物収集運搬車両の燃費目標達成車両台数の増大、環境負荷を継続的に改善していきます。

当社は、持続的な発展のためにESG,SDGsに取り組んでいます。

行動指針

① 事業を通じた環境保護

- 事業活動において、環境保護に寄与できるよう努めます。

② 資源・エネルギーの効率的利用

- 環境への負荷を認識し、省資源、省エネルギー、そしてグリーン購入に努めます。
- 産業廃棄物収集運搬時に常に使う燃料による排気ガスの環境負荷を認識し改善に努めます。
- 収集運搬業では収集運搬車両のエコ・ドライブに努めます。
- 再資源化(リサイクル)の向上に努めます。

③ 環境関連法規の遵守

- 関連する環境法規・条例及び当社が同意したその他要求事項を遵守します。

④ 継続的環境経営改善の実施

- 環境経営保全に関する目的・目標を設定し、取組み結果を見直すことにより、継続的な環境経営改善に取り組みます。

⑤ 環境啓発活動と地域・社会貢献活動の推進

- 環境活動レポートを公表する等、社内外に対して環境保護に関する情報の提供を行い、また啓発、教育活動を推進するとともに、地域社会の一員として地域・社会貢献活動の推進に努めます。
- 地域の環境美化に努めます。

※ 環境経営方針は、すべての従業員に周知します。

2020年 6 月 1日

福山産業 株式会社

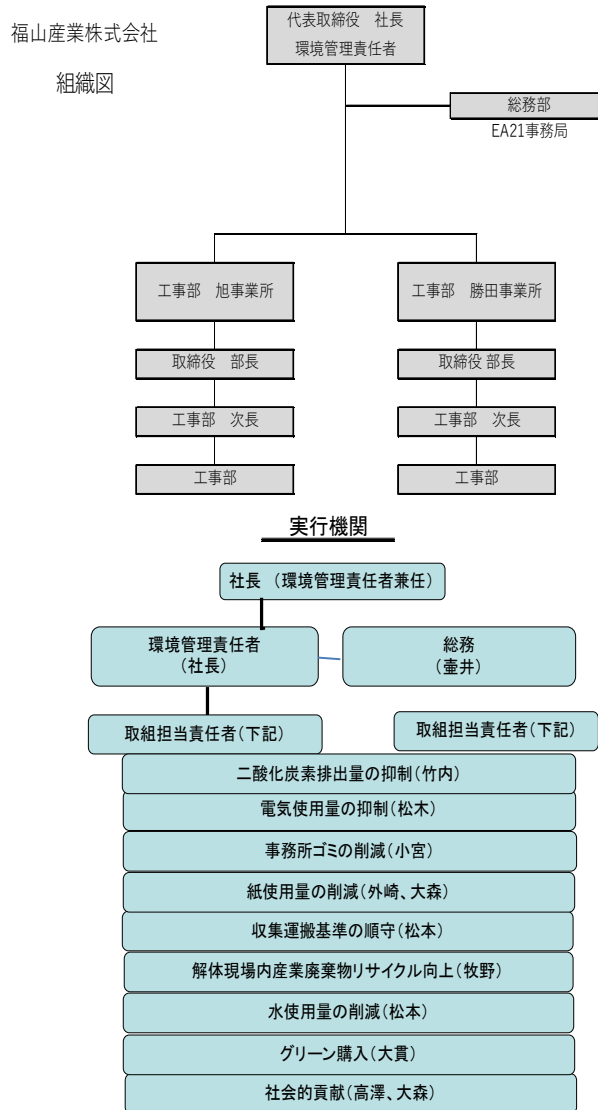
代表取締役 福山 友和

② 会社概要

商号	福山産業 株式会社	
設立	平成15年 1月 31日	
資本金	2,000万円	
売上高	43,120万円	
代表者	福 山 友 和	
環境管理責任者	福 山 友 和	
担当者 (EA21事務局)	大貫 琴音	担当者連絡先 e-mail: oonuki.k@fukuyamasangyo.co.jp
所在地	<本社> 川崎市高津区千年610番地5 <旭>横浜市旭区川井宿町59-4 <勝田DEPO>横浜市都筑区勝田町1294	
電話番号	044-740-6692	
FAX番号	044-740-6693	
従業員数	31名(2021/5/31時点)	
事業所	本社・旭事業所・勝田DEPO	
事業内容	建造物解体工事業 / 産業廃棄物収集運搬業 / フロン類回収業	
年解体工事件数	144 件	
収集運搬量(自社)	2,984.080t / 年	
収集運搬量(委託)	8,738.749t / 年	
収集運搬量(合計)	10,925.147t / 年	
回収してきたフロン類の量 (2020/4/1~2021/3/31)	32.47kg / 年	
フロン類破壊事業者に 引き渡した量 (2020/4/1~2021/3/31)	32.47kg / 年	

承認	作成
社長	大貫

③ 環境経営管理実施体制



環境経営システムに関する 責任・権限		代表取締役社長 福山 友和
役職	責任および権限	
社長	1. 環境管理責任者の任命 2. 環境方針経営の制定 3. 環境経営システムの実施および管理に必要な資源の準備 4. 環境経営システムの定期的見直しの実施 5. 社内情報の外部公開可否決定 6. 代表者による経営における課題とチャンスを整理し、明確にする。	
環境管理責任者	1. 環境経営システムの確立、実施および維持するための処置 2. 推進機関であるEA21EMS事務局の責任者として事務局運営 3. 環境経営システムの教育・訓練の計画・実施責任者	
エコアクション事務局	1. 環境経営活動レポート作成準備管理, 集計, 環境管理責任者補佐	
取組担当責任者	1. 部門の環境経営システムの総括責任者	
社員	1. 環境経営目標の達成するために各自の役割を把握し活動する	

④ 許可の内容

建設業の許可			備考	
都道府県及び政令都市	積替保管	許可所得年月日及び有効期限	許可番号	許可を受けた建設業
神奈川県	有 <input checked="" type="checkbox"/>	平成30年2月28日 令和5年2月27日	(特-29)第 67484号	解体工事業、建築工事業、左官工事業、石工事業、タイル・れんが・ブロック工事業、鉄筋工事業、ガラス工事業、防水工事業、熱絶縁工事業、大工工事業、とび・土工事業、屋根工事業、鋼構造物工事業、板金工事業、塗装工事業、内装仕上工事業、建具工事業
神奈川県	有 <input checked="" type="checkbox"/>	平成30年2月28日 令和5年2月27日	(般-29)第 67484号	造園工事業

産業廃棄物収集運搬業				ア	ラ	ス	チ	ツ	ク	紙	く	ず	織	維	屑	動	植	物	性	残	渣	金	属	屑	リ	ガ	ラ	ス	コ	ン	ク	が	れ	き	類	
都道府県及び政令都市	積替保管	許可所得年月日及び有効期限	許可番号	廃	油	ス	チ	ツ	ク	紙	く	ず	織	維	屑	動	植	物	性	残	渣	金	属	屑	リ	ガ	ラ	ス	コ	ン	ク	が	れ	き	類	
神奈川県	有 <input checked="" type="checkbox"/>	令和2年4月20日 令和9年3月30日	第01403102476号	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
東京都	有 <input checked="" type="checkbox"/>	平成30年3月17日 令和5年3月16日	第13-00-102476号	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
千葉県	有 <input checked="" type="checkbox"/>	令和2年9月28日 令和9年9月27日	第01200102476号	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
宮城県	有 <input checked="" type="checkbox"/>	平成29年6月14日 令和4年6月13日	第0400102476号	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
群馬県	有 <input checked="" type="checkbox"/>	平成30年7月11日 令和7年7月10日	第01000102476号	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●

特別管理産業廃棄物収集運搬業				特定有害産業廃棄物																																	
都道府県及び政令都市	積替保管	許可所得年月日及び有効期限	許可番号	鉛	酸	性	廃	油	汚	泥	廃	酸	アル	カ	リ																						
神奈川県	有 <input checked="" type="checkbox"/>	平成30年8月13日 令和7年8月12日	第01453102476号	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●																						
東京都	有 <input checked="" type="checkbox"/>	平成30年8月18日 令和5年8月17日	第13-50-102476号	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●																						
仙台市	有 <input checked="" type="checkbox"/>	令和2年3月16日 令和8年10月22日	第05452102476号		●																																

第一種フロン類回収業			回収の対象とする第一種特定製品の種類及びフロン類の種類							充填しようとするフロン類なし
都道府県及び政令都市	許可所得年月日及び有効期限	登録番号	エアコンデিশナー			冷蔵・冷凍機器		充填50kg以上		
			CFC	HCF	HFC	CFC	HCF	HFC	全てなし	
神奈川県	平成29年11月30日 令和4年11月29日	神(気水)第1-1552号	●	●	●	●	●	●	●	
東京都	平成19年12月6日 令和4年12月5日	第13103064号	●	●	●	●	●	●	●	
埼玉県	平成29年12月28日 令和4年12月27日	第19140109号	●	●	●	●	●	●	●	
千葉県	平成31年2月26日 令和6年2月12日	第12A142204号	●	●	●	●	●	●	●	

車 両 一 覧 表

No	自動車登録番号	メーカー	形状	車種	最大積載量
1	横浜 130 す 1018	いすゞ	ダンプ	4ts	3,850 kg
2	横浜 130 そ 1023	日野	ダンプ	4ts	3,550 kg
3	横浜 130 た 1021	いすゞ	脱着装置付コンテナ専用車	4tAR	3,900 kg
4	横浜 130 ち 1025	日野	脱着装置付コンテナ専用車	4tAR	3,950 kg
5	川崎 130 さ 1008	日野	ダンプ	4tD	3,800 kg
6	川崎 130 さ 1011	いすゞ	脱着装置付コンテナ専用車	8t	8,400 kg
7	川崎 130 さ 1013	いすゞ	ダンプ	3tユニック	3,000 kg
8	川崎 130 せ 1015	いすゞ	脱着装置付コンテナ専用車	4tAR	3,850 kg
9	川崎 430 ち 1022	日野	ダンプ	3tD	3,000 kg
10	川崎 430 に 1020	いすゞ	ダンプ	3tD	3,000 kg
11	川崎 480 う 4036	スズキ	キャブオーバ	軽トラ	350 kg
12	川崎 480 え 6022	スズキ	キャブオーバ	軽トラ	350 kg
13	横浜 430 て 1027	いすゞ	キャブオーバ	2t平	2,000 kg
14	川崎 430 て 1026	いすゞ	脱着装置付コンテナ専用車	3tAR	3,000 kg
15	川崎 130 そ 1028	日野	脱着装置付コンテナ専用車	4tAR	3,650 kg
16	川崎 130 す 1029	いすゞ	脱着装置付コンテナ専用車	8tAR	8,500 kg
17	横浜 430 は 1031	いすゞ	ダンプ	3tAR	3,000 kg
18	川崎 130 さ 1032	いすゞ	ダンプ	4tD	3,600 kg
19	横浜 430 と 1035	いすゞ	ダンプ	3tD	3,000 kg
20	横浜 130 ち 1033	日野	キャブオーバ	3tD	3,000 kg
21	横浜 430 ち 1034	いすゞ	脱着装置付コンテナ専用車	3tAR	3,000 kg

2021.5.31現在

⑥ 環境経営目標

No	環境経営方針項目		基準値	年度目標			
				2020年度 19期 (2020.6.1~2021.5.31)	2021年度 20期 (2021.6.1~2022.5.31)	2022年度 21期 (2022.6.1~2023.5.31)	
1	二酸化炭素 排出量の削減	CO ₂ 排出量	200,000	200,000	200,000	200,000	
			kg-CO ₂ /年				kg-CO ₂ /年
		燃費目標達成車 両台数の増大	軽油燃費	5.00	5.00	5.00	5.00
			km/L				
2	一般廃棄物排出量の削減	65	65	65	65		
		kg/年	kg/年	kg/年	kg/年		
3	産業廃棄物の再資源化(リサイクル) リサイクル法に基づく (木くず、コンクリート破片、アスファルト・コ ンクリート破片) 自社分	% / 年	70%	70%	70%		
3	産業廃棄物の再資源化(リサイクル) リサイクル法に基づく (木くず、コンクリート破片、アスファルト・コ ンクリート破片) 委託分	% / 年	70%	70%	70%		
3	産業廃棄物の再資源化(リサイクル) リサイクル法に基づく (木くず、コンクリート破片、アスファルト・コ ンクリート破片) 合計分	% / 年	70%	70%	70%		
4	水使用量の削減	水道使用量 276	276	276	276		
		m ³ /年	m ³ /年	m ³ /年	m ³ /年		
5	化学物質の削減	(PRTR法の対象物質は取り扱っていない)					
6	グリーン購入の推進	グリーン購入 マニュアルの作成	マニュアルに基づく 注文の実施	マニュアルに基づく 注文の実施	マニュアルに基づく 注文の実施		
7	環境配慮サービスの提供	紙使用量	90,000	90,000	90,000		
		90,000 枚/年以下					
		現場周辺清掃回数	50	50	50		
		50 回/年					
エコキャップ回収量	3,500	3,500	3,500				
3,500 個/年							

注) 二酸化炭素排出係数はH25年東京電力実績の0.530kg/kWhを適用した。

⑦ 環境経営活動計画

環境経営目標項目		取組項目	取組内容
二酸化炭素排出量削減	二酸化炭素排出量の削減	空調の適正管理	・暖房温度は22℃で設定 ・冷房温度は28℃で設定
		照明の適正管理	・不在場所や休憩時の消灯
		エコドライブの励行	・アイドリングストップの遵守 ・急発進・急停止の抑制
	収集運搬車両の燃費向上	各車両の燃費向上	・給油時の燃費の確認 ・燃費計算後の反省項目の確認
		燃費目標達成車両台数の増大	・燃費優良車両の情報公開 ・提供情報の有効利用
		定期的車両点検整備	・定期点検日の設定と実施 ・自動車タイヤ空気圧の適正化
一般廃棄物排出量の削減	搬出ゴミの分別	・分別基準の設定と分別ゴミ入れの設置 ・分別ゴミ入れへの遵守	
	搬出ゴミのリサイクル	・分別ゴミのリユース ・分別ゴミの適正な業者への引き渡し	
産業廃棄物の削減	産業廃棄物の分別	・分別廃棄物入れへの遵守 ・産業廃棄物分別マニュアルの確認	
産業廃棄物の再資源化	産業廃棄物のリサイクル	・分別廃棄物入れへの遵守 ・分別ゴミの適正な業者への引き渡し	
水使用量削減	節水コマや蛇口の工夫	・水道蛇口の漏水防止 ・トイレ使用時の適正使用	
	解体作業中の散水手順の遵守	・解体工事散水手順書の更新 ・手順書に基づく散水方法の遵守	
グリーン購入の推進	グリーン購入マニュアルの作成	・グリーン購入マニュアルの確認	
	マニュアルに基づく注文の実施	・備品購入時のマニュアル確認	
環境配慮サービスの提供	紙使用量の削減	・情報漏えい回避資料以外の裏紙使用 ・資料の電子文書化の推進	
	現場付近の清掃	・現場付近の清掃基準の作成 ・基準に基づく清掃の励行	
	エコキャップの回収	・自販機横にエコキャップ回収BOXの設置	

⑧ 環境経営目標の実績(2020年6月1日～2021年5月31日)

No	環境経営方針項目		基準値	目標	実績	達成度	
1	二酸化炭素排出量の削減	二酸化炭素排出量の削減	CO ₂ 排出量 200,000 kg-CO ₂ /年	200,000	135,260	○ 67.6%	
		燃費目標達成車両台数の増大	軽油燃費 5.00 km/L	5.00	6.19	○ 123.8%	
2	廃棄物排出量の削減	一般廃棄物排出量の削減	65 kg/年	65	72	× 110.8%	
4	産業廃棄物の再資源化(リサイクル)リサイクル法に基づく(木くず、コンクリート破片、アスファルト・コンクリート破片) 自社分		% / 年	70%	86%	○ 122.8%	
4	産業廃棄物の再資源化(リサイクル)リサイクル法に基づく(木くず、コンクリート破片、アスファルト・コンクリート破片) 委託分		% / 年	70%	78%	○ 111.4%	
4	産業廃棄物の再資源化(リサイクル)リサイクル法に基づく(木くず、コンクリート破片、アスファルト・コンクリート破片) 合計分		% / 年	70%	86%	○ 122.9%	
5	水使用量の削減		水道使用量 276 m ³ /年	276	248	○ 89.9%	
6	化学物質の削減		(PRTR法の対象物質は取り扱っていない)				
7	グリーン購入の推進		グリーン購入マニュアル	マニュアルに基づく注文の実施	マニュアルに基づく注文の実施	○	
8	環境配慮サービスの提供		紙使用量	90,000	90,000	82,500	○ 109.0%
			90,000 枚/年以下				
			地域清掃回数	50	50	50	○ 100%
			50 回/年				
エコキャップ回収量	3,500	3,500	2,322	× 66.3%			
3,500 個/年							

注) 二酸化炭素排出係数はH25年東京電力実績の0.530kg/kWhを適用した。

⑨ 環境経営活動計画の取組結果とその評価及び次年度の取組内容

目標項目		今年度の取組内容	取組結果とその評価	次年度の取組内容
二酸化炭素排出量削減	二酸化炭素排出量の削減	空調の適正管理	概ね達成できた。	継続して実施する。
		照明の適正管理		
		エコドライブの励行		
二酸化炭素排出量削減	収集運搬車両の燃費向上	各車両の燃費向上	収集運搬マニュアルを作成し、講習を開催した結果、効果的に出来た。	継続して実施する。
		燃費目標達成車両台数の増大		
		定期的車両点検整備		
廃棄物削減排出	一般廃棄物排出量の削減	搬出ゴミの分別	公共工事現場増加による書類(紙ゴミ)の増加。	社内書類はできる限り裏紙を使用し紙ごみを削減する。電子化できるものは電子書類に変更。
		搬出ゴミのリサイクル		
産業廃棄物の削減	産業廃棄物の分別	直接の再資源化ではないが分別をすることにより再資源化の一端を担う	継続して実施する。	
産業廃棄物の再資源化	産業廃棄物の分別	直接の再資源化ではないが分別をすることにより再資源化の一端を担う	継続して実施する。	
水使用量削減	節水コマや蛇口の工夫	トイレ節水器具、消音器具の定着により削減できた。 蛇口をシャワー切り替え付のものにしたため節水効果が出た。 工事中の散水手順書を作成し、担当者が確認することによって達成できた。	継続して実施する。	
	解体作業中の散水手順の遵守			
グリーン購入の推進	グリーン購入マニュアルの作成	グリーン購入マニュアルを作成し、それに基づき備品購入した結果、効果的に出来た。	継続して実施する。	
	マニュアルに基づく注文の実施			
環境配慮サービスの提供	紙使用量の削減	概ね達成できた。	継続して実施する。	
	現場付近の清掃	現場近隣周辺清掃マニュアルを活用し、達成出来た。	継続して実施する。	
	エコキャップの回収	コロナの影響による自販機購入者の減少によるエコキャップ回収目標未達。	社内でのエコキャップとペットボトルの分別の徹底。	

⑩環境関連法規への違反、訴訟等の有無

- 環境関連法規の遵守状況をチェックした結果違反はありません。
- 関係当局から違反の指摘は過去三年間ありません。

※環境関連法規の取りまとめ表参照

⑪代表者による全体の評価と見直しの結果

環境方針、目標を定めて社員全員が内容を理解し取り組むことができました。

一人一人の取り組み意識向上が感じられました。

さらなる実践を継続していきたく思います。

環境関連法規の取りまとめ表

項目	規制区分				規制の対象 (環境側面)	関係法規制等	規制事項	調査方法	順守評価		順守確認日及び最新の確認日
	法令	規則	条例	その他					順守確認の方法	順守及び最新の確認者	
建設業法	○				解体工事	建設業法	建設業法第3条第1項の解体工事業の許可	国土交通省新着メール配信サービスに登録し随時確認	現場担当者に確認	社長	2021/5/31
リサイクル		○			解体工事	建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律施行規則	第2条3項建築物に係る解体工事の工程は次に掲げる順序に従わなければならない 1 建築設備、内装材その他の建築部分 2 屋根瓦材の取り外し 3 外装材及び構造耐力上主要な部分の取り壊し 4 基礎及び基礎杭の取り壊し等 及び分別解体、建築物等に用いられた建設資材に係る建設資材廃棄物をその種類ごとに分別しつつ解体工事を計画的に施行すること	国土交通省新着メール配信サービスに登録し随時確認	現場担当者に確認	社長	2021年5月31日
産業廃棄物	○				産業廃棄物収集運搬 事業系一般廃棄物	廃棄物の処理及び清掃に関する法律 川崎市廃棄物の処理に関する法律	第14条第1項の産業廃棄物収集運搬の許可 ①産業廃棄物が飛散、流出しないようにすること ②悪臭、騒音、振動で支障が生じないように措置をすること ③産業廃棄物の飛散、流出や悪臭飛散のおそれのない密閉容器、運搬車両を用いること ④許可の更新を5年ごとにすること ⑤不法投棄をしないこと ⑥野焼きをしないこと ⑦マニフェストを5年間保存すること ⑧産業廃棄物収集運搬委託契約を書面にすること ⑨収集運搬時はマニフェストを使用すること 事業者自らの責任において適正に処理しなければならない	環境省新着メール配信サービスに登録し随時確認	現場担当者に確認	社長	2021年5月31日
騒音規制法	○				解体工事	騒音規制法 第三章 特定建設作業に関する法律	騒音規制法の騒音規定値を遵守する指定地域内において特定建設作業を伴う建設工事を施工しようとする者は、当該特定建設作業の開始の日の7日前までに届け出なければならない	環境省新着メール配信サービスに登録し随時確認	現場担当者に確認	社長	2021年5月31日
振動規制法	○				解体工事	振動規制法 第三章 特定建設作業に関する法律	振動規制法の振動規定値を遵守する指定地域内において特定建設作業を伴う建設工事を施工しようとする者は、当該特定建設作業の開始の日の7日前までに届け出なければならない	環境省新着メール配信サービスに登録し随時確認	現場担当者に確認	社長	2021年5月31日
生活環境保全			○		解体工事	川崎市公害防止等生活環境の保全に関する条例第65条	屋外作業振動、騒音をより少なくする方法への変更時間の配慮、作業員への教育、指導を行い騒音、振動による公害の発生を防止しなければならない	https://www.city.kawasaki.jp/300/page/0000013995.html	現場担当者に確認	社長	2021年5月31日
事業系一般廃棄物	○				解体工事	廃棄物の処理及び清掃に関する法律	①委託基準の遵守 ②業者への資格確認	環境省新着メール配信サービスに登録し随時確認	業者HPで資格の確認	社長	2021年5月31日
リサイクル	○				家電品の使用及び排出	特定家庭用機器再商品化法 法令第6条 (家電リサイクル法)	長期間の使用と廃棄物の抑制適切な引渡しと料金の支払い	環境省新着メール配信サービスに登録し随時確認	固定資産台帳 家電引渡書の確認 2回/年	社長	2021年5月31日
リサイクル	○				使用自動車の排出	使用自動車の再資源化に関する法律 法令第8条・第73条 (自動車リサイクル法)	自動車の保有者は、当該自動車を使用済自動車となったときは、引取り業者に当該自動車を引き渡さなければならない リサイクル費用を資金管理法に対して預託しなければならない	環境省新着メール配信サービスに登録し随時確認	固定資産台帳 の確認 2回/年	社長	2021年5月31日
他	○				フロン排出抑制法	フロン排出抑制法 特定解体工事元請業者が特定解体工事発注者に交付する書面に記載する事項を定める省令	第一種フロン類回収業者の登録 第一種フロン類取引、引渡し等の義務の遵守 行程管理表の導入 第一種特定製品(業務用エアコン)	簡易点検 3ヶ月に1回以上 定期点検:年に1回以上 (専門業者が実施) 7.5kw以上の業務エアコン	工程管理表の確認	社長	2021年5月31日
他			○		アスベスト廃棄物	非飛散性アスベスト廃棄物の取扱いに関する技術指針	収集運搬の飛散防止と他の廃棄物との混合防止落下防止とした構造の運搬車両	環境省新着メール配信サービスに登録し随時確認	運転手に確認	社長	2021年5月31日